

調査の経緯

1 調査の契機

明治維新を迎え、城郭としての役目を終えた福井城は、石垣の撤去・堀の埋め立てなどにより徐々にその姿を消し、市街地と化していった。福井市は福井県の県都となり、福井市街地はかつての城下町の範囲を大きく超えて展開するようになる。しかし、福井駅などの交通機関の中枢や県庁・県議会堂・市役所・裁判所はもとの城郭内に納まる位置にあり、かつての福井城中枢近辺がそのまま現代の行政・商業の中心地と重なると言える。ただし近年、郊外型大型店舗が出店をはじめると、もとより公共交通機関が不備であり、既に1人1台のクルマ社会が形成されていたため、駐車場のない駅前商店街から客足が遠退くこととなり、中心市街地の空洞化の進行を加速させることとなった。このことは、大きな社会問題として受け止められ、官民を挙げてその対策が図られることとなる。福井駅周辺・中心市街地の再開発は、早い段階から福井市により進められていたが、ここへ来て、具体化した福井駅の改装・福井駅周辺連続立体交差事業などの大規模開発とともに、県都再生・賑わいの創出・高齢者らの日常生活の利便性の向上などの効果が期待されるようになった。中心市街地の大規模な再開発が、市街地の再活性化をもたらし、来るべき高齢化社会に対応した住み良い街づくりをすることで、人口や産業の流出の抑制・都心居住の回帰を促すとの解釈によるものであろう。そのような理念の基に進められる再開発は、かつての破壊を免れ地下に残存する福井城の遺構を、再び徐々に蝕むこととなる。（御嶽）

福井城跡が展開する福井駅周辺では、平成9年以来ここ10年、J R北陸線連続立体交差や土地区画整理関連の事業などで継続して発掘調査が行われている。福井城跡が平成4年度に遺跡として周知されて以来、本調査だけで40件近くにのぼり、県埋文センターが担当した分の立会調査などを含めると80件近くとなり、福井市文化財保護センターの担当分を含めると優に100件を超えると思われる。

そういう中で、中心市街地の駐車場不足を解消し活性化に役立てるため、路上駐車をなくして、周辺道路を安心して通行できるよう、また、障害者やお年寄りの方々に利用しやすい駐車スペースを確保し高齢化社会に備えるためという、以上3点を目的として福井駅西口地下駐車場の整備は計画された。

最初に文化財側に具体的な話がなされたのは、平成11年11月頃で、平成12年5月～6月に試掘調査を実施した。その結果、近世の堀や近世から古代までの遺構・遺物が多数検出され、複数の遺構面が確認された。特に福井城跡最大の堀である、百間堀が良好な状態で遺存している事と、中世の遺構が確認された事が大きかった。また、調査区の北側に平行して延びる堀へと通じる階段状の遺構も確認された。この結果を受け協議を行い、平成14年6月14日に道路保全課・文化課の課長出席のもと連絡会議が開催され、平成14年7月から本調査を開始することとなった。本調査開始以前にも、土留壁設置に伴う立会調査などを行い、本調査で続きが検出されることとなる笏谷石製の階段や石垣などを確認した。また、石垣の方向性などを把握する目的で、地中レーダー探査も実施された。なお百間堀内は、J R北陸線連続立体交差関連の事業で調査していることと、交差点であることなどから、調査の進捗を図るために、石垣から5mまでを本調査し、あとはボーリング資料により復元することとなった。ボーリングは平成14年7月から10月にかけて、計17本を3～4m間隔で実施した（図7）。（本多）

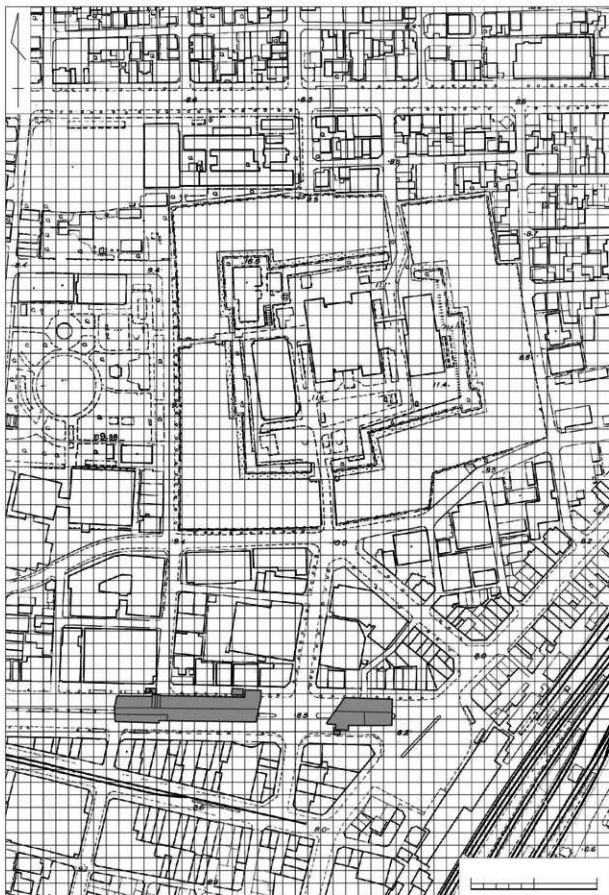


図1 福井城本丸と調査地の位置 (S=1/3,000)

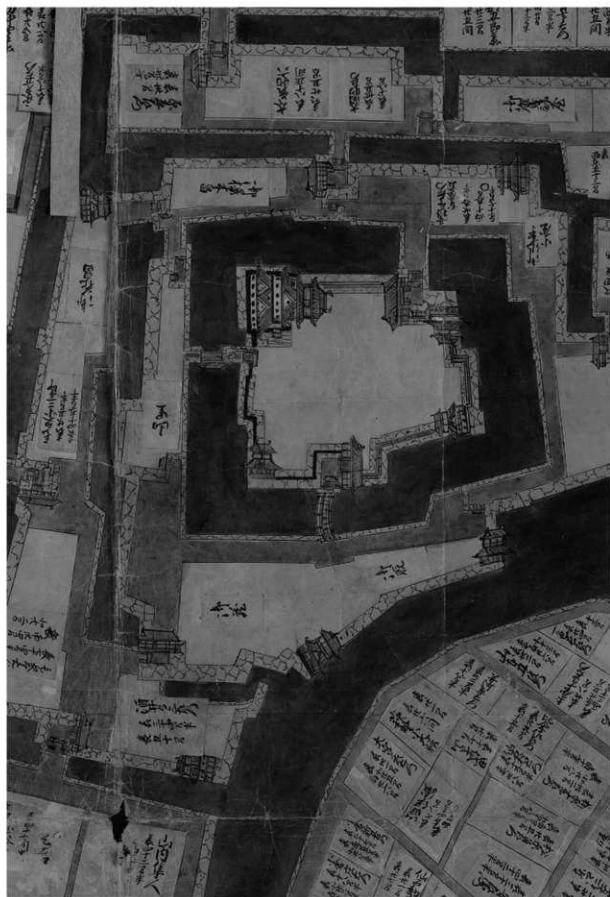


図2 福井城本丸と調査地付近 (S=約1/3,000) 「御城下絵図(寛文年間)」松平文庫 松平宗紀氏藏 福井県立図書館保管

2 調査の経過

発掘調査にあたり、道路を遮断せず交通を確保すること、地下駐車場建設工事の進捗にあわせて順次対象地を引渡すこととされた。そのため、調査区は道路の車線ごとに細分され、調査は開発側の要求する順序で実施することとなった。結果的に、調査区は13の区域に分断された(図3)。

本調査は平成14年7月17日に開始した。基本的に、道路の南側部分を調査した後、車線を切り替え、その後に北側部分を調査した。調査の間には、調査の一層の進展を図ることを目的として、急遽平成14年10月から一部調査区(02 4地区の一部)が追加されたり、平成15年5月に02 4地区東側の堀部分の先渡しが要求されたりなど、予定外のことが多々あった。しかし、一番大きな変更は、調査開始年の12月に合意済みだった次年度調査区の変更であり、その結果、平成15年度中に調査を終了することとなった。その変更に伴い、平成15年8月と12月に02 7・8・11地区などの立会調査を実施した。

各調査区の調査期間と調査経過はそれぞれ表1・表2に記す。なお、平成15年4月20日と11月16日には、現地説明会を開催した。1回目の現地説明会は、02 3 3・02 4地区にて検出した石垣・石敷き通路などをメインとして実施した。2回目の現地説明会は、02 9・02 10地区にて検出した打刀・黒漆塗線刻三ツ巴紋石瓦(軒丸瓦・鳥会・棧瓦)などの遺物をメインとして実施した。どちらも100名を越える方に参加していただき盛況だった。

本調査は平成15年12月26日に終了した。しかし、この後平成18年になり、階段部分の増設06 7地区と、石垣復元展示06 11地区に伴う立会調査を、それぞれ4月と12月に実施した。06 7地区では、02 10地区の北側外に平行して延びる堀の北側に屈曲する部分を検出した。本調査では石垣の裏込め部分を中心に確認している。06 11地区は、02 3地区で検出した石垣の南接する未調査部分を、石垣展示スペースとして平成18年度中に整備することとなり、新たな依頼による調査を実施した。(本多)

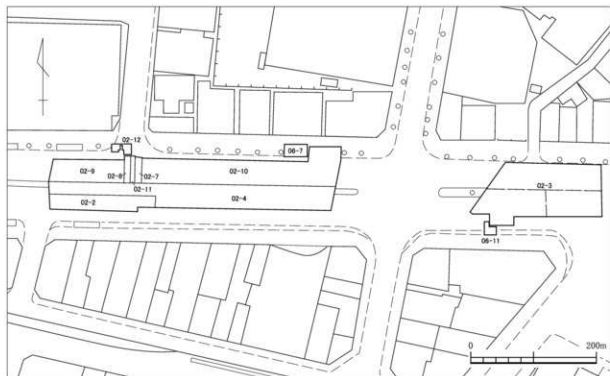


図3 調査区域(S=1/1,500) ※調査区・06は調査(開始)年度を示す。

表1 各調査区の調査期間

地区名	調査機 関
02-2	平成 14年 7月 17日 ～ 平成 14年 12月 4日
02-3(1・2)	平成 14年 7月 17日 ～ 平成 14年 12月 10日
02-4	平成 14年 10月 1日 ～ 平成 15年 7月 18日
02-3(3)	平成 15年 3月 6日 ～ 平成 15年 7月 9日
02-9	平成 15年 8月 19日 ～ 平成 15年 12月 26日
02-10	平成 15年 8月 22日 ～ 平成 15年 12月 18日

表2 各調査区の調査経過

02-2地区

日 付	内 容
平成 14年 7月 17日	調査開始
平成 14年 9月 2日	航空測量(第1面近世)
平成 14年 10月 3日	航空測量(第2面中世)
平成 14年 11月 12日	航空測量(第3面中世)
平成 14年 11月下旬以降	古代の調査
平成 14年 12月 4日	航空測量(第4面古代) 調査終了



02-3

02-3(1・2)地区

日 付	内 容
平成 14年 7月 17日	調査開始
平成 14年 8月 6日	航空測量(第1面近世)
平成 14年 8月 30日	東側調査区を拡張
平成 14年 9月 2日	航空測量(第2面中世)
平成 14年 9月 27日	石垣解体
平成 14年 10月 3日	航空測量(第1面近世)
平成 14年 10月 9日	7月からの調査区の終了
平成 14年 10月 23日	航空測量(第2面近世)
平成 14年 11月 20日	航空測量(第3面中世)
平成 14年 12月 4日	航空測量(第4面中世)
平成 14年 12月 10日	調査終了



02-3 石垣解体

02-3(3)地区

日 付	内 容
平成 15年 3月 6日	調査開始
平成 15年 4月 20日	第1回 現地説明会
平成 15年 4月 22日	航空測量(第1面近世)
平成 15年 5月 22日	航空測量(第2面近世)
平成 15年 6月 19日	航空測量(第3面中世)
平成 15年 7月 3日	航空測量(第4面中世)
平成 15年 7月 9日	調査終了



02-1

02-4 地区

日付	内容
平成 14年 10月 1日	調査開始(一部)
平成 14年 11月 19日	航空測量(石垣など)
平成 14年 12月 2日	年内調査終了
平成 15年 2月 19日	現場再開(一部)
平成 15年 3月 6日～	全面展開
平成 15年 4月 3日	航空測量(石垣Ⅲ)
平成 15年 4月 19日	航空測量(石垣Ⅰ)
平成 15年 4月 20日	第1回 現地説明会
平成 15年 4月 21日 ～ 5月 20日	石垣解体および鋼木の調査
平成 15年 5月 16日	航空測量(第1面近世)
平成 15年 5月 20日	石垣部分の引渡し
平成 15年 6月 25日	航空測量(第2面中世)
平成 15年 6月 26・27日	古代の遺構面まで重機掘削
平成 15年 7月 17日	航空測量(第3面古代)
平成 15年 7月 18日	調査終了



現地説明会



02-4 石垣Ⅰ

02-9 地区

日付	内容
平成 15年 8月 19日	調査開始
平成 15年 9月 18日	航空測量(第1面近世)
平成 15年 10月 10日	刀取り上げ
平成 15年 10月 15日	航空測量(第2面中世)
平成 15年 11月 15日	航空測量(第3面中世)
平成 15年 11月 16日	第2回 現地説明会
平成 15年 12月 4日	航空測量(第4面古代)
平成 15年 12月 26日	調査終了



02-9

02-10地区

日付	内容
平成 15年 8月 22日	調査開始
平成 15年 9月 18日	航空測量(第1面近世)
平成 15年 9月 24・25日	石垣解体(石垣Ⅲ)
平成 15年 10月 15日	航空測量(第2面中世)
平成 15年 10月 28日	石垣解体(石垣Ⅱ)
平成 15年 11月 16日	第2回 現地説明会
平成 15年 11月 18日	航空測量(第3面中世)
平成 15年 11月 19・20日	古代の遺構面まで重機掘削
平成 15年 11月 25・26日	石垣解体(石垣Ⅰ)
平成 15年 12月 8日	航空測量(第4面古代)
平成 15年 12月 18日	調査終了



02-10 井戸10-5055

立会調査

平成 15(2003)年	
8月	02-7・02-8地区
12月	02-11・02-12地区
平成 18(2006)年	
4月	06-7地区
12月	06-11地区